

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／その他資産（商品）
信託期間	無期限（2011年2月7日設定）
運用方針	主として純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
主要運用対象	純金上場信託（現物国内保管型）受益証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	受益証券発行信託の受益証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 純金ファンド

愛称：ファインゴールド

第6期（決算日：2017年1月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 純金ファンド」は、去る1月20日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数(指標価格)		受益証券の発行信託受益証券比率	純資産額	
	(分配落)	税金	み配金	期騰落	中率			
	円	円	円		%	%	百万円	
2期(2013年1月21日)	13,182	0	0	17.5	4,878	18.6	99.9	1,591
3期(2014年1月20日)	11,324	0	0	△14.1	4,215	△13.6	99.9	2,374
4期(2015年1月20日)	12,953	0	0	14.4	4,868	15.5	99.9	3,255
5期(2016年1月20日)	10,888	0	0	△15.9	4,104	△15.7	99.9	4,809
6期(2017年1月20日)	11,665	0	0	7.1	4,465	8.8	99.9	7,929

(注) 当ファンドの参考指数(指標価格)は、東京商品取引所における金1グラム当たりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格です。参考指数(指標価格)は、日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格とは異なります。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数(指標価格)		受益証券の発行信託受益証券比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2016年1月20日	円	%		%	%
	10,888	—	4,104	—	99.9
1月末	11,510	5.7	4,332	5.6	99.9
2月末	11,843	8.8	4,458	8.6	99.9
3月末	11,782	8.2	4,439	8.2	99.9
4月末	11,643	6.9	4,387	6.9	99.9
5月末	11,516	5.8	4,346	5.9	99.9
6月末	11,526	5.9	4,343	5.8	99.9
7月末	11,750	7.9	4,451	8.5	99.9
8月末	11,514	5.7	4,360	6.2	99.9
9月末	11,401	4.7	4,306	4.9	99.9
10月末	11,342	4.2	4,306	4.9	99.9
11月末	11,338	4.1	4,315	5.1	99.9
12月末	11,467	5.3	4,354	6.1	99.9
(期末) 2017年1月20日	11,665	7.1	4,465	8.8	99.9

(注) 騰落率は期首比。

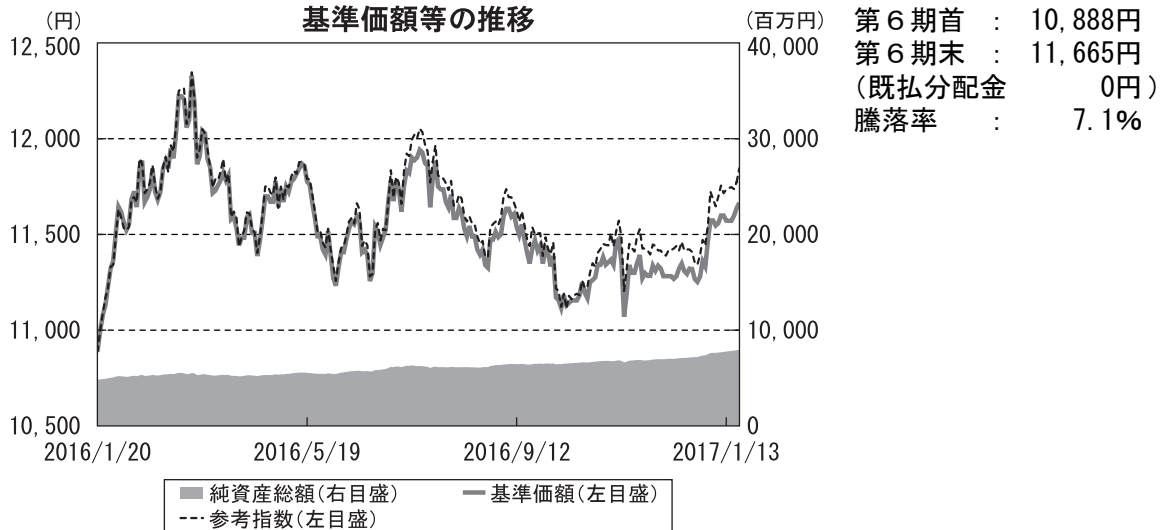
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第6期：2016/1/21～2017/1/20)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.1%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因	金価格が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第6期：2016/1/21～2017/1/20)

金市況の推移



◎金市況

- ・期首から2016年6月にかけては、世界的な景気減速懸念を受け、安全資産としての金に対する評価が高まり、「LBMA金価格(午前)」は上昇しました。
- ・6月下旬に行われた英国の国民投票で欧州連合(EU)からの離脱が過半数を超えたことやイタリアの銀行債務に対する懸念の強まりなど、先行き不透明感が強まり、金価格はさらに上昇する局面もありました。
- ・11月上旬に行われた米国大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策期待を背景に長期金利が上昇、ドル高が加速して、ドルの代替資産とされる金価格は下落しました。
- ・2017年から期末にかけては、急激な為替変動に対する警戒感が強まり円高・ドル安となり、ドルと逆相関が生じやすくとされる金価格は上昇しました。期を通じてみると金価格は上昇しました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)

◎為替市況

- ・期首から2016年11月初旬にかけては、強弱入り混じる米国経済指標や世界的な景気減速懸念などから世界的に低金利状態が続くとの見方が根強く、円高・ドル安が進みました。
- ・米国大統領選挙でトランプ氏が勝利すると、積極的な財政政策期待を背景に長期金利が上昇、円安・ドル高が急激に進みました。
- ・2017年から期末にかけては、急激な変動に対する警戒感が強まり、円高・ドル安となりました。期を通じてみると、円高・ドル安となりました。

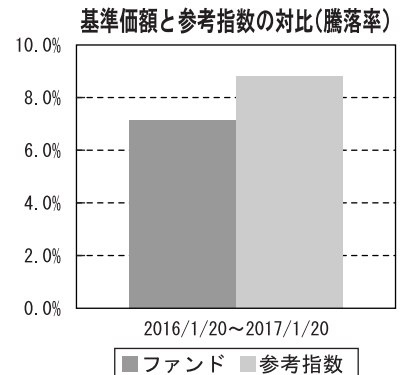
当該投資信託のポートフォリオについて

◎参考指数との比較

- ・金価格の上昇幅が大きく、円高・ドル安によるマイナス影響を上回り、円ベースの金価格は上昇しました。その結果、参考指数は期首と比べて8.8%の上昇となり、当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」についても、7.7%上昇しました。
- ・当ファンドと参考指数との乖離は $\Delta 1.7\%$ 程度となりました。このうち、 $\Delta 1.1\%$ 程度は、参考指数と当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の値動きが必ずしも一致しないことに起因するものです。また、 $\Delta 0.6\%$ 程度は、当ファンドにおいて一定のキャッシュを保有していることや信託報酬、取引コスト等によるものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は指標価格です。



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期
	2016年1月21日～2017年1月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,628

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

純金上場信託「金の果実」を高位に組み入れることにより、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。

○1万口当たりの費用明細

(2016年1月21日～2017年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(28)	(0.244)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.244)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	63	0.545	
期中の平均基準価額は、11,552円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年1月21日～2017年1月20日)

受益証券発行信託の受益証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	純金上場信託（現物国内保管型）	千口 733	千円 3,106,745	千口 97	千円 422,142

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月21日～2017年1月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
受益証券発行信託の受益証券	3,106	647	20.8	422	75	17.8

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
受益証券発行信託の受益証券	百万円 3,106	百万円 422	百万円 7,924

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2017年1月20日現在)

国内受益証券発行信託の受益証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
純金上場信託(現物国内保管型)	千口 1,199	千口 1,836	千円 7,924,406	% 99.9
合 計	口 数 ・ 金 額 1,199	1,836	7,924,406	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 99.9% >	

(注) 比率および合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【ETF(上場信託)の概要】

ETFの直近の入手しうる有価証券報告書等から抜粋して作成しています。

ファンド名	純金上場信託(現物国内保管型)(愛称:「金の果实」)
内 容	金地金を信託財産とした信託に係る受益権を金融商品取引所に上場し、受益者の投資に資するよう受託者が主として金地金を信託財産として管理及び処分することを目的とするETFです。
指 標 価 格	金地金の現在価値を算出するために、東京商品取引所における金1グラムあたりの先物価格を、金のフォワードレートで現在価値に引き直した理論価格として受託者が算出します。
決 算 月	1月

【損益計算書】

(単位：千円)
(自 2015年1月21日 至 2016年1月20日)

営業収益	その他の事業収益	(注1) 11,773
	営業収益合計	11,773
営業費用	受託者報酬	149,887
	その他費用	12,018
	その他の事業費用	(注2) 316
	営業費用合計	162,223
営業損失(△)		△150,450
営業外収益	受取利息	0
	営業外収益合計	0
経常損失(△)		△150,449
税引前当期純損失(△)		△150,449
当期純損失(△)		△150,449

(注1) その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

(注2) その他の事業費用とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による損失であります。

【信託財産を構成する資産の内容】

金地金

資産の種類	金地金
品質	信託契約に定める所定の要件(注1)を満たすもの
質量	10,099,240.676g(2016年1月20日時点)(注2)
価値	42,105,787,181円(2016年1月20日時点)(注3)
保管場所	サブ・カस्टディアン(日本国内)

(注1) 純度が99.99%以上のものを指します。

(注2) 受託者は、信託報酬等の支払い等に必要限度で信託財産を構成する金地金を売却しますので、信託財産を構成する金地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成する金地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成する金地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

(注3) 計算期間末日(2016年1月20日)時点における金地金の総額(簿価)を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2017年1月20日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
受益証券発行信託の受益証券	7,924,406	98.9
コール・ローン等、その他	85,210	1.1
投資信託財産総額	8,009,616	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,009,616,649
コール・ローン等	83,049,764
受益証券発行信託の受益証券(評価額)	7,924,406,885
未収入金	2,160,000
(B) 負債	79,916,811
未払金	33,917,500
未払解約金	27,711,431
未払信託報酬	18,193,222
未払利息	119
その他未払費用	94,539
(C) 純資産総額(A-B)	7,929,699,838
元本	6,797,850,692
次期繰越損益金	1,131,849,146
(D) 受益権総口数	6,797,850,692口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,665円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,417,646,019円
 期中追加設定元本額 4,330,149,668円
 期中一部解約元本額 1,949,944,995円
 また、1口当たり純資産額は、期末11,665円です。

②分配金の計算過程

項 目	2016年1月21日～ 2017年1月20日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	1,651,117,248円
分配準備積立金額	136,006,312円
当ファンドの分配対象収益額	1,787,123,560円
1万口当たり収益分配対象額	2,628円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況 (2016年1月21日～2017年1月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 22,282
受取利息	1,812
支払利息	△ 24,094
(B) 有価証券売買損益	331,517,980
売買益	433,338,969
売買損	△ 101,820,989
(C) 信託報酬等	△ 33,051,824
(D) 当期損益金(A+B+C)	298,443,874
(E) 前期繰越損益金	△ 272,861,832
(F) 追加信託差損益金	1,106,267,104
(配当等相当額)	(1,651,117,248)
(売買損益相当額)	(△ 544,850,144)
(G) 計(D+E+F)	1,131,849,146
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,131,849,146
追加信託差損益金	1,106,267,104
(配当等相当額)	(1,651,117,248)
(売買損益相当額)	(△ 544,850,144)
分配準備積立金	136,006,312
繰越損益金	△ 110,424,270

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2016年10月20日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。